

(社) 日本建築学会・(社) 日本機械学会合同主催シンポジウム

## サステナブル時代における建築

—住宅の生産と暮らしを支えるIT・RT—

経済産業省・総務省・国土交通省 後援

(財) 製造科学技術センター・(社) 日本ロボット工業会・(社) 日本ロボット学会  
(社) 計測自動制御学会・(社) 精密工学会 協賛 (予定も含む)

日時 2006年10月24日(火) 13:30~17:30

会場 産業技術総合研究所臨海センター別館11F [東京都江東区青海2-41-6]

趣旨 近年、ITの分野では、環境に配置された電子タグやネットワークノードを利用し、様々なシステムと融合したサービスの提供が展開されつつある。加えて、RTの分野では、人口の高齢化、労働人口の減少に対応するため、ロボットが人間生活において安全なサービスを提供する環境についての研究開発が積極的に進められている。このように環境全体を統合的にシステム化する際には、環境の基となる建築物に対して、IT、RTを積極的に利用することを前提とした建築技術としての議論が必要である。本シンポジウムでは、建築の生産からその利用、さらには、廃棄・リサイクルまでのライフサイクルを通じたIT・RTとの相互支援について議論していく。

講演者:

○キーノートスピーチ

廣瀬通孝 (東京大学先端研)

○一般講演

嘉納成男 (早稲田大学), 新井健生 (大阪大学), 土屋博史 (経済産業省製造産業局)

田原康生 (総務省情報通信政策局), 伊藤弘 (建築研究所)

○パネルディスカッション

司会: 荒井栄司 (大阪大学)

パネラ: 廣瀬通孝, 嘉納成男, 新井健生, 土屋博史, 田原康生, 伊藤弘

定員 150名

参加費 会員 (正員, 准員)

2000円

学生員

無料

会員外

4000円

一般学生

無料

申込方法 事前にE-mailにて「サステナブル時代における建築参加申込み」と明記し、1)氏名、2)会員資格、3)勤務先・所属、4)電話・E-mailをご記入の上、2006年10月17日(火)までに下記問い合わせ先にお申し込みください。

申込先・問合せ先

〒305-8568 茨城県つくば市梅園1-1-1/産業技術総合研究所知能システム研究部門空間機能研究グループ/谷川 民生/電話(029)861-7157/FAX(029)861-3493

E-mail: house-sympo@arai-lab.sys.es.osaka-u.ac.jp